

# 2020年CDP 水セキュリティ 入門(基礎版)

CDP 事務局

2020年5月

ウェビナー資料



# コンテンツ

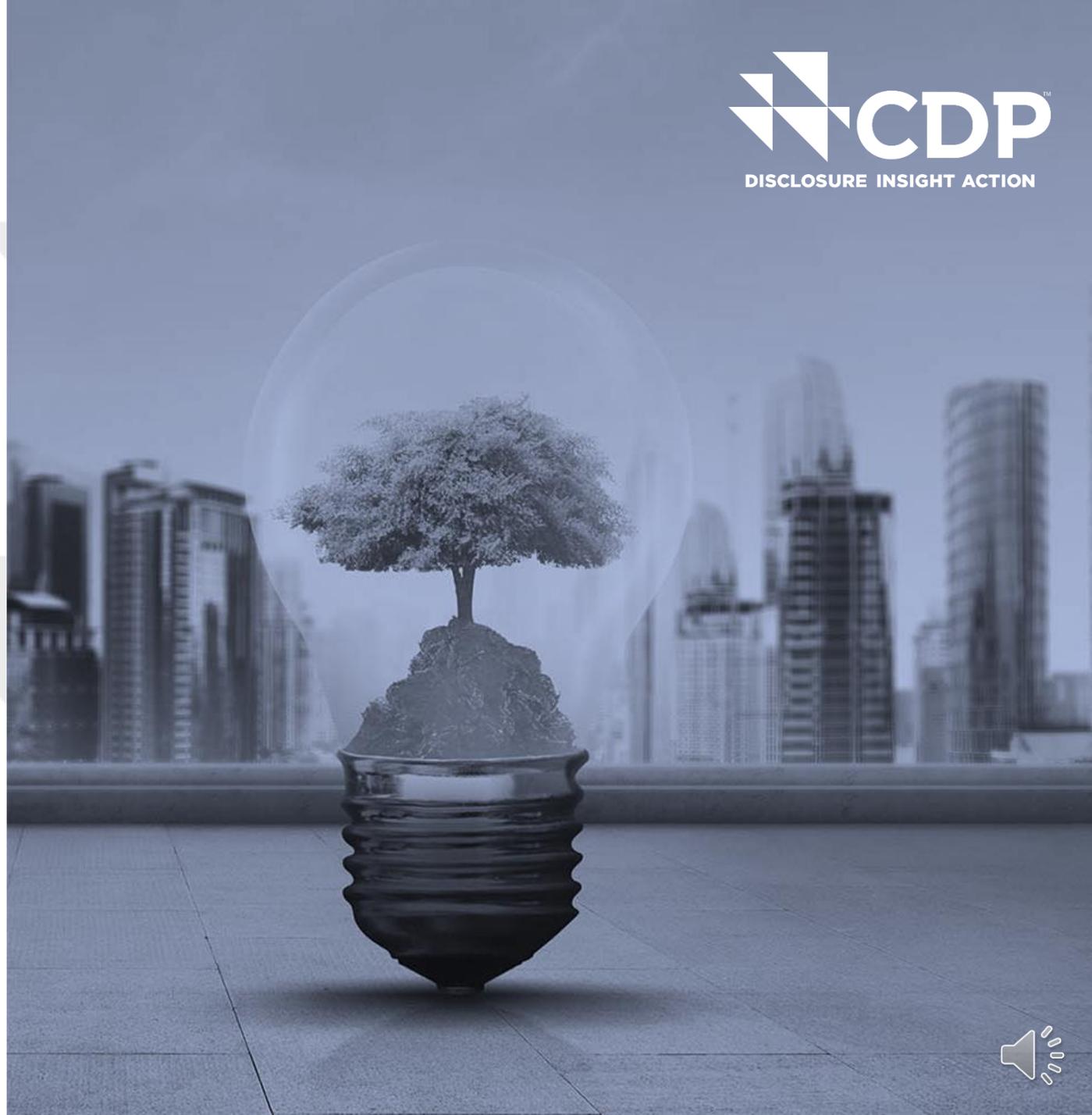
- ▼ CDPとは
- ▼ CDP水セキュリティ
- ▼ CDP水セキュリティ質問書
- ▼ 評価方法
- ▼ 質問書の変更点

# CDPとは - ビジョンとミッション

CDPは、人々と地球のための長期的な経済の繁栄を実現すべく努めています。



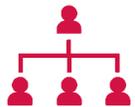
情報開示を通じて、投資家、企業、自治体が、自身の環境影響を認識し、真に持続可能な経済を実現すべく行動を起こすよう促しています。



# CDPとは



投資運用額**106兆ドル**を超える**515**を超える投資家



購買力**4兆ドル**を超える**150**のサプライチェーンプログラムメンバー



**8,400社**を超える企業からの回答



2019年度にJapan500の**63%**が情報開示



**120**を超える地域の環境インパクト



# CDPとは



投資家はCDPのデータを投資判断の一つとして使い、  
企業はサプライヤー選定基準の一つとして利用。

投資家/企業



企業



環境への影響やリスク、機会、投資、  
戦略を投資家や企業に開示

TCFDに関連した環境情報を記入



# CDPとは



投資家/企業

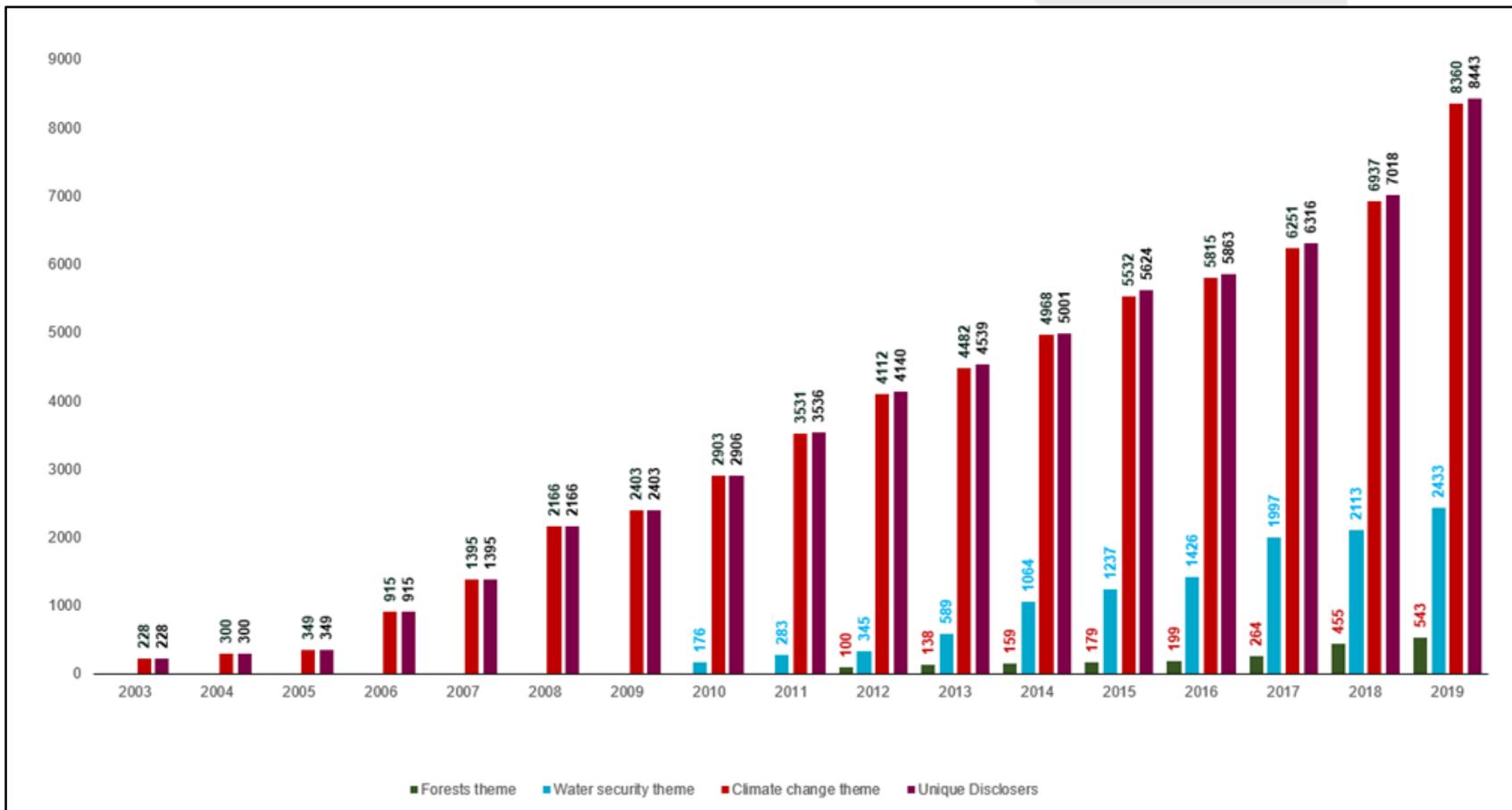
## CDPデータの役割

- 主要な株式情報提供サービス
- 投資家は直接 / 間接的にCDPからの情報を活用



# CDPとは - CDP質問書への回答状況

## 2003 - 2019



2019年度は計8,443社が質問書に回答



気候変動  
8360社



水セキュリティ  
2433社



フォレスト  
543社



# CDP水セキュリティ

セクター

| テーマ<br>クラスター | 気候変動                      | 水セキュリティ               | フォレスト                |
|--------------|---------------------------|-----------------------|----------------------|
| エネルギー        | 電力事業<br>石炭<br>石油・ガス       | 電力事業(EU)<br>石油・ガス(OG) | -                    |
| 輸送           | 輸送機器製造<br>輸送サービス          | -                     | -                    |
| 素材           | セメント<br>鋼鉄<br>金属・工業<br>科学 | 金属・鉱業(MM)<br>化学(CH)   | 金属(MM)・工業(CO)        |
| 農業           | 食品・飲料・タバコ<br>農産品<br>製紙・林業 | 食品・飲料・タバコ<br>(FBT)    | 製紙・林業(PF)            |
| 一般           | セクター別質問書に該当しないすべての企業      | セクター別質問書に該当しないすべての企業  | セクター別質問書に該当しないすべての企業 |



# CDP水セキュリティ 構成



|      | 2020 モジュール    | 主な内容   |
|------|---------------|--|
| 一般質問 | W0 インTRODクシヨN | 会社の概要、報告年、通貨、バウンダリ   |
|      | W1 現状         | 水の依存度、水のアカウンテイング(水のモニタリングの割合、取水量・排水量・消費量の合計値、水ストレスの大きい水域での取水量、リサイクル・再生水の割合)、バリューチェーンでの協働 |
|      | W2 事業影響       | 報告年における水による事業への影響、水規制違反により受けた罰則  |
|      | W3 手順         | 水リスクの評価方法の手順・考慮される要素   |
|      | W4 リスクと機会     | 水リスクのある施設数・内容等、水関連リスクと対応、水によりもたらされる機会  |
|      | W5 施設レベルの水会計  | 施設レベルの水に関するデータ   |
|      | W6 ガバナンス      | 水関連方針、マネジメントの責任、政策への関与と整合  |
|      | W7 事業戦略       | 事業計画、設備投資費/操業費、シナリオ分析、ウォータープライシング  |
|      | W8 目標         | 水関連目標と達成に向けた進捗   |
|      | W9 検証         | 水情報に関する外部検証  |
|      | W10 承認        | 回答承認者の情報   |



# CDP水セキュリティ



環境スチュワードシップに向かう

リーダーシップ／環境スチュワードシップ

マネージメント／環境問題に対して行動をとり、リスク低減

認識／企業にとって環境問題がどのような意味を持つのか

情報開示／透明性のアピール



# CDP水セキュリティ 質問書／現状



W0. 1

企業概要

W0. 2

データの報告年の開始日と終了日の記入

W0. 3

データを提供する国の選択

W0. 4

すべての財務情報に使用される通貨の選択

W0. 5

水に関連する影響の報告対象とした会社、事業体、またはグループの報告範囲（バウンダリ）として該当する者の選択

W0. 6

バウンダリの除外



# CDP水セキュリティ 質問書／現状



W1. 1

貴社事業の成功のために、水の質／量はどの程度重要か、  
現在と将来の重要度をお答えください

W1. 2

事業全体を通して見たときの、以下の水はどの程度測定されているか

合計取水量、水ストレス地域からの取水量、水源からの取水量、油でのお濁水、取水の  
質、排水量、放流先別排水量、処理方法別排水量 etc..

W1. 2d

水ストレス地域からの種類割合

W1. 4

サプライヤーや顧客を、水関連問題に巻き込んでいるか



# CDP水セキュリティ 質問書／事業影響



W2. 1

有害な水関連の影響（インパクト）があったか

W2. 2

水関連規則に反する罰金や執行命令、その他罰則の対象になったか



W3. 3

水関連リスク評価の実施の有無

W3. 3a

水リスク特定と評価の手続きの詳細

W3. 3b

水関連リスク評価で考慮されるものを選択

流域／集水域における水の利用可能性や河川流域／集水域における水資源に関連したステークホルダー間の対立、生態系及び動植物生息環境の状況など

W3. 3d

自社オペレーションやバリューチェーンにおける水関連リスクの特定、評価、そしてリスクに対するの対処のプロセス



# CDP水セキュリティ 質問書／リスクと機会

W4. 1 財務または戦略面で影響を及ぼす可能性のある水リスクの特定をしたことがあるか

W4. 1c 水関連リスクを持つ施設の数とその割合、そして事業への潜在的影響（インパクト）についての詳細

W4. 2 特定されたリスクとそれへの対応について、詳細の説明

W4. 3b 水関連のリスク評価で考慮されるものを選択



# CDP水セキュリティ 質問書／施設レベルの水



**W5. 1** W4. 1cで挙げた各施設について地理座標、水データ、全報告年との比較について回答



# CDP水セキュリティ 質問書／ガバナンス



W6. 1

水に関する企業方針があるか

W6. 2

水関連問題に関して、取締役レベルの監督があるか

W6. 4

水関連問題の管理で、経営幹部レベル役員または取締役にインセンティブを付与しているか

W6.5

水関連の公共政策に直接／間接的に影響を及ぼしうる活動に関与しているか

政策立案者との直接的な協議を通じて  
業界団体を通じて  
研究機関への資金提供を通じて  
等



# CDP水セキュリティ 質問書／事業戦略



**W7. 1** 水関連問題が長期的・戦略的事業計画に組み込まれているか、またそれがどのように組み込まれているのか

**W7. 3** 気候関連シナリオ分析情報の事業計画への利用有無

**W7. 4** 水に対する内部的価格付け（ウォータープライシング）の有無



# CDP水セキュリティ 質問書／定量的目標(target)



W8. 1 水関連の目標や目的をどのように設定・モニタリングしているのかについて、説明

目標の種類

定量的測定基準

目標が対象とする範囲

開始年

主要の動機

目標年

目標の詳細

達成の進捗

基準年

詳細



# CDP水セキュリティ 質問書／検証



W9. 1

CDPで情報開示するその他の水関連情報について、外部検証を受けているか

W9 1a

検証したのはCDP情報開示における度のデータ化。また、どのような検証基準を用いたか



# CDP水セキュリティ / 定義

- 取水 (water withdrawal)  
企業または工場で使用したすべての水の総量
- 表面淡水 (Fresh surface water)
  - 地下にない表面淡水 (雨水や湿地、河川や湖などの水を含む)
  - 氷床や氷河なども含む
- 汽水 (brackish water)
  - 塩分濃度が比較的高い水 (10,000 mg/L以上)  
(海水は「汽水」に含まれない)



# CDP水セキュリティ / 定義



- ・ 地下水 (Groundwater – renewable)
  - ・ 地下にある水で、50年以内に自然から水が補充され、比較的浅いところにある地下水のこと
- ・ 地下水 (Groundwater – non renewable)
  - ・ 50年のタイムスケールで自然から水が補充されておらず、比較的深いところにある地下水
- ・ 随伴水 (Produced water)
  - ・ 石油およびガス貯留槽内の地下に閉じ込められた水が採掘中に地表に出てきたものを指す。
  - ・ たいていはリサイクルされ、関連する工程で使用される

# CDP水セキュリティ / 定義



- ・ 第三者からの水 (Thirs Party sources)
  - ・ 都市用水からの水や公的／私営施設からの水、他の機関からの汚染水なども含む

- ・ 水不足 (Water Scarcity)

- ・ 淡水資源の量的な不足
- ・ 水不足は、人が引き起こすものである。すなわち、水不足はある地域における水資源の量に対する人の水消費量に左右される。したがって、水が極めて少ない地域にもかかわらず人による水の消費のない地域は水不足地域ではなく「乾燥」地域であるとみなされる。

- ・ 水ストレス (Water Stress)

- ・ 淡水に対する人と生態系の需要を満たす能力またはその能力の不足
- ・ 水ストレスは、水不足と比較してより包括的かつ広範な概念である。水ストレスについては、水の利用可能性、水質、水へのアクセスなどの水資源に関連するいくつかの側面について考慮するが、水へのアクセスは、とりわけインフラの充足性や水の価格に左右されることが多い。

# CDP水セキュリティ / 定義



## ・ 物理的リスク

- ・ 企業に対して直接または間接的な影響を及ぼすような法律や規制の予期される、または予期されない変更や不確実性によって生じる

## ・ 規制リスク

- ・ 水ストレスや水不足、洪水、汚染により生じる場合がある。物理的リスクは、生産に対する悪影響または物的資産に対する損害を引き起こす。

## ・ 評判リスク

- ・ 訴訟による影響、消費者行動の変化による製品リスク、投資家、消費者および現在／将来の従業員の企業に関する意思決定に影響を及ぼす可能性のあるリスク

# CDP水セキュリティ / 定義



## ・ 取水量

- ・ 用途を問わず、あらゆる水源（地上水、地下水、臼井、地方自治体の水道など）から報告組織のバウンダリへ取水された総量（GRIガイドラインにおける定義）
- ・ 直接取水した水と仲介者が取水した水が含まれる

## ・ 水消費量

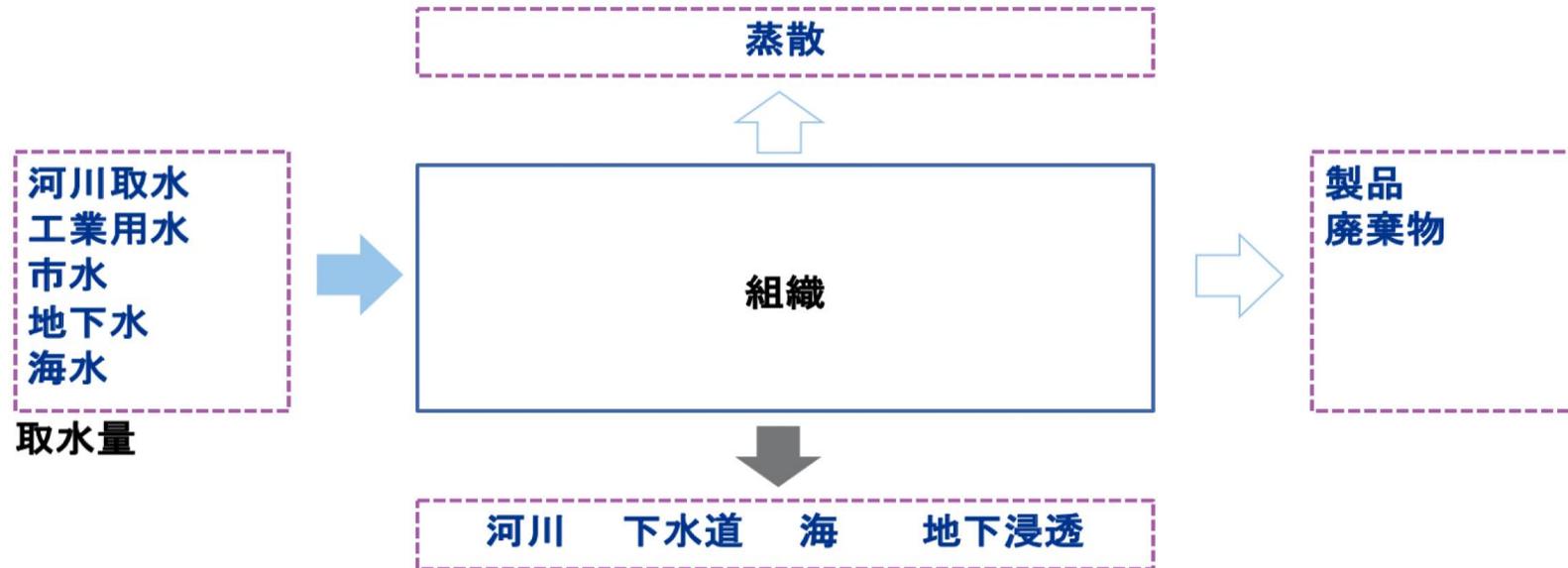
- ・ 使用され、元の取水源に戻されない水の量（Ceres Aqua Gauge における定義）
- ・ 蒸発した水、発散した水、製品、作物、廃棄物の一部となった水、人や家畜に消費された水、そのほかの方法で水源から除去された水が含まれる
- ・ 消費してしまい、水源から除去された水の量

その他、わからない定義があれば別途質問書ガイダンスをご覧ください。

# CDP水セキュリティ

## 「取水量」と「水消費量」: 計算方法

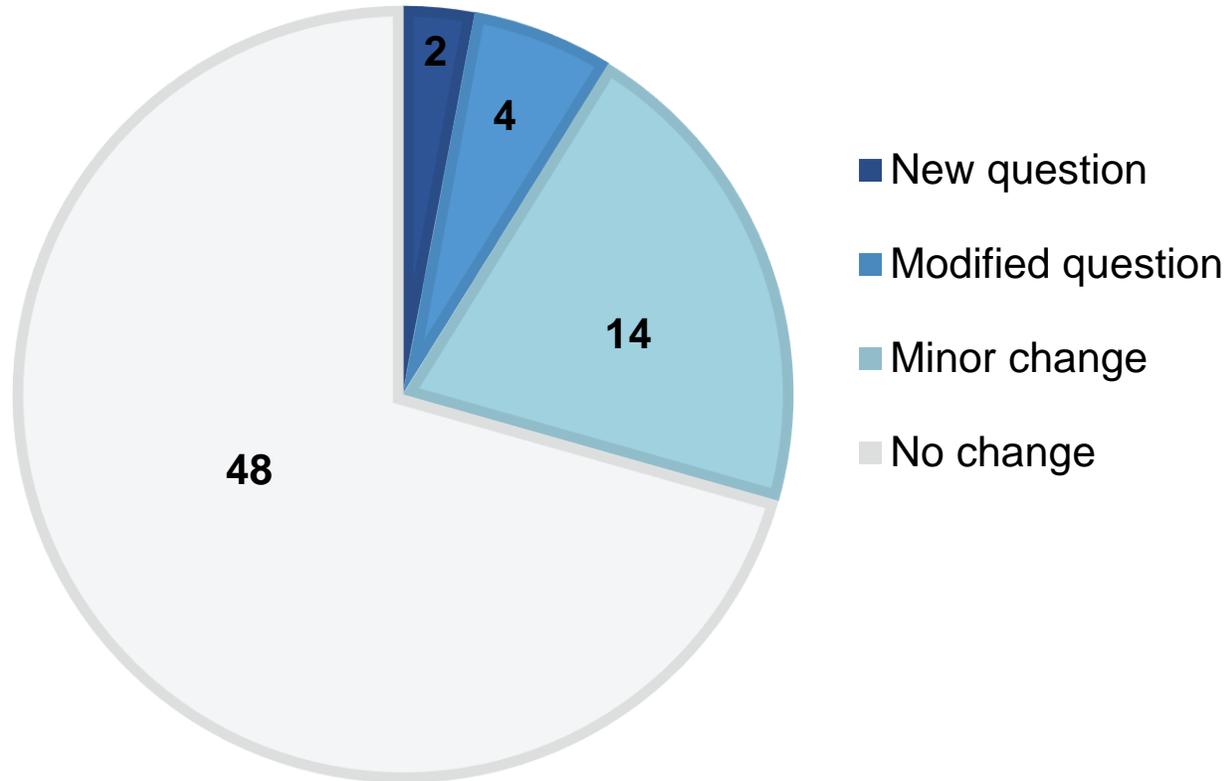
- ▼ 現実的に「水消費量」をどのように計算すべきか？



水消費量 = 使用され、元の取水源に戻されない水の量  
= 蒸散量 + 製品や廃棄物に含まれる水の量 + 取水した水源以外への排水量  
= 取水量 - 取水した水源への排水量

# 2020年質問書変更の概要

## 2020 WATER SECURITY QUESTIONNAIRE



2020年質問書の質問数: **68**

- ▼ アンケートの91%が「変化なし」か「軽微な変化」のどちらかである
- ▼ 7つの質問削除
- ▼ 新しいセクターはありません

変更点については、別途こちらのスライドでまとめています。

評価方法の変更など、モジュール別に見たい場合は、上級編のウェビナー資料をご覧ください



# 質問書の変更点 2019→2020



CDP HP にガイダンスや変更点などが載っておりますので、  
必ずご覧ください。



[Guidance & questionnaires](#)

[Contact](#)

[Regional websites](#) ▾

[Language](#) ▾

[About us](#)

[Our work](#)

[Why disclose?](#)

[Become a member](#)

[Data and insights](#)



[Sign in](#)

[Home](#) > [Guidance & questionnaires](#) > [Guidance for companies](#)

## Guidance for companies

Companies can disclose in response to a request from an investor, a customer, or both. This page covers the basics of the information request and shows some of the guidance that is available. CDP's full suite of guidance materials and recorded webinars can be accessed from the guidance tool after you [sign in](#). View [instructions](#) on how to use CDP's disclosure platform, including the guidance tool.

The **Covid-19 (Coronavirus)** pandemic presents a global challenge of unprecedented scale. CDP is aware that companies, investors city and state governments around the world are facing serious impacts affecting their residents, staff, and ongoing operations. We recognise that for many this could also impact their 2020 disclosure.



↑ 詳細な変更点につきましては上記資料をご覧ください



# 2020年スコアリング関連資料

- ▼ スコアリング基準 (全セクター、簡易版含)
- ▼ スコアリングイントロダクション資料
- ▼ カテゴリ&ウェイトイング資料
- ▼ スコアリング基準変更点資料 (簡易版日本語スライドは[こちら](#))
- ▼ 日本版2020年CDP質問書情報ページ(日本語)





## CDPジャパン事務局

Address: 東京都千代田区大手町2-2-1新大手町ビル3階



Tel: +81 (0)3 6225 2232



[www.cdp.net/ja/japan](http://www.cdp.net/ja/japan) (日本語サイト)



問い合わせ先代表: [japan@cdp.net](mailto:japan@cdp.net)

SBTについて

[sbt.japan@cdp.net](mailto:sbt.japan@cdp.net)

RE100について

[re100.japan@cdp.net](mailto:re100.japan@cdp.net)

CDPレポーターサービスについて

[reporterservices.japan@cdp.net](mailto:reporterservices.japan@cdp.net)

CDPサプライチェーンプログラムについて

[supplychain.japan@cdp.net](mailto:supplychain.japan@cdp.net)

メディアの方向け

[press.japan@cdp.net](mailto:press.japan@cdp.net)

回答事務費用の原本発行依頼

[accounts.japan@cdp.net](mailto:accounts.japan@cdp.net)

